

寅さん歩 その 23

東京の博物館めぐり－46

大田区－1

平野 武宏



新型コロナウイルス感染拡大が続いていた東京都の緊急事態宣言が 2021 年 10 月 1 日から解除になりましたので、お休みして残っていた区の博物館めぐりを再開しています。寅さん歩 東京の主要道路の起点～終点シリーズと並行して記載していきます。区内にある博物館(記念館・資料館・展示館等の総称とします)から寅次郎の好みで選び、独断と偏見の紹介と感想です。詳細を知りたい方は各博物館のホームページをご覧ください。

今回は大田区の博物館めぐりです。右上の写真は洗足池公園の勝海舟墓所近くの紅葉です。入場料の記載なしは無料、最寄り駅は代表駅です。

バーチャルウォークの途中経過も報告します。

〔大田区立郷土博物館〕 大田区西馬込 5-11-13

最寄駅 都営浅草線 西馬込駅

西馬込駅東口脇の馬込文士村商店会の通りを行き、坂を上った右側に区立郷土博物館(写真下左)があります。

2 階展示室(常設展示)は「地中に刻まれた歴史」で区内の旧石器時代から中世の主要な遺跡や出土遺物を展示し、各時代から見た大田区の姿をたどります。入口には大森貝塚を発見した E・S モースの展示(写真下右)があります。



写真下は 2 階展示室内です。



3階展示室（常設展示）は「馬込文士村」です。大正時代末から昭和初期にかけて、山王や馬込に多くの作家や画家が移住し、いつしか馬込文士村と呼ばれました。展示室では山王・馬込・新井宿に在住した文士らの作品のほか、自筆原稿・遺品などを展示（写真下左）しています。写真下右は作家・画家の区内在住地ですが、多くの作家や画家が住んでいたことがよく分かります。



3 階展示室ではまた大田区の街の近代化が進んだ歴史が展示されています。大正半ば頃から人口が増え田畑が宅地にかわりました。その市街地への歴史を紹介し、1947 年（昭和 22 年）に誕生した大田区の歩みを振り返る写真パネルの展示がありました。晩年の渋沢栄一も理想の住宅地づくりとして大田区田園調布の宅地開発に貢献しています。寅次郎の訪問時には写真展「せんべい屋店主、大田を撮る！」が開催されていました。羽田で生まれ育ったせんべい屋 横山宗一郎(1920～1995)が羽田を中心に撮影した作品です。時期により面白い企画の特別展や企画展が開催されます。興味ある方は博物館HPで確認ください。開館時間は 9 時～17 時。休館日は祝日を除く月曜日、年末年始、展示入替えの期間です。

〔大田区立勝海舟記念館〕 大田区南千束 2-3-1

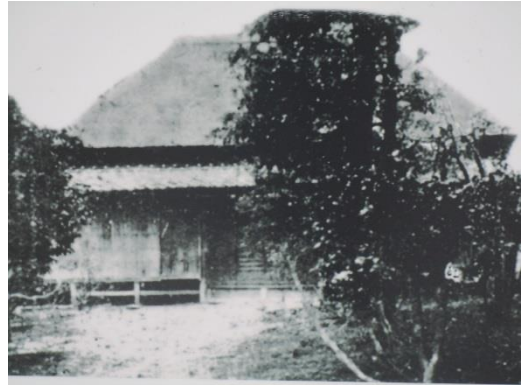
最寄駅 東急池上線 洗足池駅

駅前の中原街道（都道 2 号線）を渡り、洗足池（写真右）を左に見て進み、区立大森第六小学校の先に勝海舟記念館（写真下左）があります。館内の展示は撮影出来ませんが、写真下右は撮影可の勝海舟胸像で彫刻家 高村光雲の弟子である本山白雲の作品です。



勝海舟(1823～1899)は通称：麟太郎、安房守、安芳、実名：義邦と多くの名前を持ち、幕末から明治にかけて激動の時代を生きました。1853 年（嘉永 6 年）ペリーが来航し開港を迫ります。海舟は海防論を著わし幕府に登用されます。その後長崎海軍伝習所で洋楽を学び、海軍知識を習得しました。

そして海軍の育成に努めるなど進歩的な考えを持った幕臣です。1860 年（万延元年）幕府は遣米使節の随艦として咸臨丸を派遣、その艦長が勝海舟でした。1868 年（慶応 4 年）官軍が江戸に進軍した際には、薩摩藩邸における西郷隆盛との会見や、池上本門寺（薩摩藩の本陣が置かれた）での会談などを経て江戸城無血開城を実現させたことで知られています。開城直前の 4 月 9 日と 10 日は池上本門寺で武器などの引き渡し交渉を行い、寺に向かう途中、休息のため寄った先が洗足池だったとのことで、この地を大変気に入り、1891 年（明治 24 年）に洗足池の畔に別邸「洗足軒」（44 坪のかやぶき屋根の農家風家屋（写真右）を現在の区立大森第六小学校敷地内に建て、自身の埋葬の地に決めました。海舟没後の墓所や別荘の保存、関係の図書の収集・閲覧、講義を目的に財団法人清明会が 1933 年（昭和 8 年）清明文庫を開館、2000 年（平成 12 年）に国登録有形文化財に登録され、2012 年（平成 24 年）に大田区の所有になりました。



2019 年（令和元年）9 月、旧清明文庫を活用し、リニューアルした区立勝海舟記念館が開館しました。同館は海舟の功績や大田区との関係を紹介しています。開館時間は 10 時～18 時。休館日は毎週月曜日（祝日の場合は翌日）、年末年始、臨時休館日です。入館料 一般 300 円、65 歳以上 240 円、小中学生 100 円。

〔昭和のくらし博物館〕 大田区南久が原 2-26-19

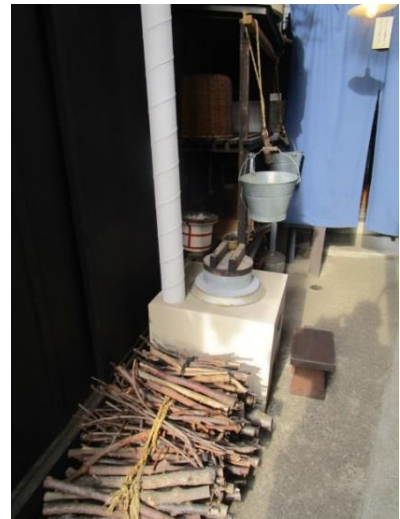
最寄駅 東急池上線 久が原駅

寅次郎、初めて降りた駅です。東調布第三小学校先の電柱住所表示 2 丁目-16 の脇に入り口表示（写真下左）がありました。入り口から細い路地を入ると「昭和のくらし博物館」（写真下右）です。



1951 年（昭和 26 年）に政府の住宅政策、住宅金融公庫の融資を受けて建て、1996 年（平成 8 年）まで使用した個人の住宅を 1999 年（平成 11 年）に博物館にしました。館長は住宅の持ち主で日本の家具史・生活史研究の小泉和子さんです。建物内に上がり、昭和の生活の丁寧な説明を受けました。撮影出来るのは建物の外側のみでした。

写真下左は懐かしい洗濯の道具です。洗濯機の無い時代に昔の人は良くやりましたね。写真下右は薪を使ったかまどです。架かっているバケツは天秤棒で水を運んだものとのことで、東京の大田区の話です。



写真下右は増築した部分で懐かしい縁側がありました。



開館時間は 10 時～17 時。開館日は 金曜日、土曜日、日曜日、祝日なので注意。
入館料は大人 500 円、小学生～高校生 300 円。

〔こぼれ話〕 洗足池公園 大田区南千束 2-14-5

「洗足池」は「千束池」と呼ばれた灌漑用の池で、1千束分の税が免除されたことから「千束」になったそうです。その後、日蓮聖人が病氣療養のため身延(現在の山梨県)から常陸(現在の茨城県)に向かう途中、この池で足を洗ったことから「洗足池」と呼ばれるようになったと伝わっています。日蓮聖人は常陸まで行けずに、大田区池上の地で亡くなりました。

現在、洗足池は「洗足池公園」としてボート、桜、紅葉を楽しむ人々の憩いの場所となっています。写真下右は池の奥左にある弁天島の弁財天で小橋があり渡れます。池の周りには散歩道があり、池を一周できます。



勝海舟もこの自然に惚れ込み、この地に別邸を建て、当時は富士山が見えた墓所で夫人（たみ）と眠っています。写真下左は夫妻の墓所です。五輪塔の形式は海舟が生前に図案化して指示したもので、「海舟」の文字だけを水輪に刻ませています。夫人は1905年(明治38年)に亡くなり、昭和20年代に青山墓地から改葬されたとのこと。左側の夫人の五輪塔には「海舟室」と記されていました。



写真上右は墓所の隣の敷地にある南洲留魂詩碑です。西郷隆盛(南洲)を悼み、西郷の三回忌の 1879 年(明治 12 年)南葛飾郡(現在の葛飾区)木下川の浄光寺に海舟が自費で建立した石碑で、表面には西郷が沖永良島の獄中で作った七言律詩で天皇に対する忠誠心が詠まれています。西郷の自筆で書かれた詩は文言の留魂詩(りゅうこんし)から留魂詩碑と称されています。裏面には海舟の西郷への述懐が刻まれています。荒川放水路の開削工事で 1913 年(大正 2 年)にこの地に移設されました。碑の左前には詩の全文が書かれた説明板があります。敷地内には勝海舟追慕碑、徳富蘇峰詩碑、留魂祠がありました。



写真上左は洗足池奥の左にある千束八幡神社で 860 年(平安時代の貞観年間)に豊前(現在の福岡県)の宇佐八幡宮から分霊したとのこと。鎌倉に向かう途中の源頼朝がこの池に陣を構え、諸将の参陣を待ったと伝わっています。写真上右は源頼朝がこの辺りで宿営中、突然現れた野生馬「池月」の像です。1184 年(平安時代の元暦年間)の木曾義仲との宇治川の戦いでは、これに乗った家来が一番乗りを果たした名馬とのこと。

寅次郎が訪問した 2021 年 12 月 10 日洗足公園は紅葉が真っ盛りでした。写真右の正面奥が勝海舟夫妻の墓所です。洗足池公園の紅葉については、この後に掲載する「寅さん歩 東京の紅葉・黄葉 2021」をご覧ください。



[バーチャルウォーク途中報告]

八柳修之さん作成の多くのバーチャルウォークコースがFWAホームページ「YR・四季の道」に掲載されています。寅次郎、現在は「弥次さん 喜多さんと伊勢参り」のバーチャルウォークです。「一生に一度は伊勢参り」のうたい文句に誘われて2005年1月29日～2月1日開催の「第1回熱田・伊勢125キロで初詣ウォーク」に参加して愛知県熱田神宮から三重県伊勢神宮まで歩きましたが、今回は日本橋から東海道五十三次を歩いて四日市日永追分から伊勢街道に入る、二回目の伊勢参りです。2021年9月27日、日本橋を出立、2021年12月13日、伊勢国（現在の三重県）伊勢神宮（日本橋から454km）に到着しました。寅次郎、内宮・外宮の参拝を済ませ、同行の弥次さん 喜多さんと別れて四日市日永追分に戻り、東海道五十三次の残りを京三条まで歩きます。

緊急事態宣言は2021年10月1日から解除されましたが、新型コロナウイルスの新しい変異株（オミクロン）が世界中で見つかり、今後の感染拡大が心配です。例会が再開されましたが、毎日の運動不足対策にはマイお散歩コースを見つけ、その歩いた距離を累計して楽しむバーチャルウォークを始めませんか。毎日の歩いた距離をコースシート上のマスの色塗りして進むバーチャルウォークはやりがいがあります。

今回の伊勢参りのコースシートは弥次さん、喜多さんの道中ばなし付きです。FWAのHP「YR・四季の道」の「バーチャルウォークコーナー」は各コースが紹介され、各コースシートが印刷できます。

また「ひとり歩きコーナー」には地図付きの各コースがありますので選んで印刷して利用ください。

歩く際は密閉・密集・密接の密にならないよう、又それ以外の感染対策を怠らないようにお願いします！

平野 寅次郎 拝